

こもれび 武蔵野市社会教育委員だより  
発行日：平成 30 年 8 月 1 日発行  
編集：社会教育委員の会議  
発行者：武蔵野市教育委員会教育部  
生涯学習スポーツ課 TEL 0422-60-1902  
表紙ロゴ：亜紀ロゴイラスト工房  
初版：500 部



## 武蔵野市社会教育委員だより

平成 30 年 8 月 1 日 第 4 号

### 新たな任期を迎えて—社会教育の多様な可能性を切り開く—

社会教育委員の会議議長 宇佐見義尚

前期 2 年間（2016. 4-2018. 3）に引き続き、今期（2018. 4-2020. 3）の社会教育委員の委嘱をお受けするにあたり、社会教育とは何かについて、少しく述べさせていただくことをお許しください。「社会教育とは何か」は、これまでの任期 2 年間の間、いつも私の頭の中を離れることはありませんでした。その結論として、私は「社会教育とは、社会教育とは何かを常に問い続けることだ」としてきました。社会教育は、社会の変動とともに変化をしていくもの、流動的な社会の本質に即した柔軟な教育理念でなければならないから、「社会教育とは何か」の固定した答えを出すべきではないとの考えでした。



それと同時に、私は社会教育とは、家庭教育、学校教育を包み込む教育の集大成的な位置におかれるべきではないかと考えています。すべての教育は社会教育に集約していくものではないか。家庭教育、学校教育、社会教育、この三者を、「棲み分け」的にとらえるのではなく、社会教育を扇の要にした関係性でとらえる。社会教育としての家庭教育、社会教育としての学校教育、そして社会教育としての生涯学習（自己実現）という視点から、家庭教育、学校教育のありようをも改めて見直してみることで、社会教育自身にも新しい可能性を切り開くことができる。こうした思いを込めて、今期 2 年間で全力投球で、常に革新的であることに定評のある武蔵野市の「社会教育委員の会議」の議長職を全うできたらと思います。

... — ... — ... — ... — ... — ... — ... — ... — ...

### ごあいさつ

武蔵野市教育委員会教育長 竹内 道則

平成 29 年に社会教育法が改正されました。その中では、地域全体で子供たちの成長を支え、社会総掛かりでの教育を実現し、地域を活性化していくものとしています。今後は、学習指導要領の改訂や大学入試も変わり高校の教育内容も変化します。AI 社会に向けて学校教育全体が構造改革に入っているのだと考えています。同様に、人生 100 年時代やリカレント教育など、生涯学習の環境も大きく変化する時代に向かっているものと認識しています。



本年は、第六期長期計画の策定が始まります。また、生涯学習計画の改定に向けた、基礎調査も行います。次年度は、ラグビーワールドカップ 2019 が開催され、武蔵野市はキャンプ地となっており、その先には東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会も控えています。「異文化」「多様性」を感じる・学ぶ・体験するチャンスが増えます。

このチャンスを活かし、市民による目線で多くの事業や講座等が開催され、レガシーとしても引き継ぐことができるよう画ってまいります。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 武蔵野市が29年に1度の会長市を担当します

### —東京都市町村社会教育委員連絡協議会—

東京都23区以外の市町に置かれている「社会教育委員の会議」のヨコの連絡機関として東京都市町村社会教育委員連絡協議会があります。この連絡協議会には29の「社会教育委員の会議」が5つのブロックに分かれて、それぞれブロック別に日々の社会教育活動についての情報交換や研修などを行っています(ちなみに、武蔵野市は三鷹市、小金井市、調布市、府中市、狛江市とともに第5ブロックに属しています)。この連絡協議会では、持ち回りで会長市を担当してその年度の活動を統括するルールになっています。そうしたわけで、各市町は29年に1回、会長市の役割が回ってくることとなります。そして本年度平成30年に、いわば29年ぶりに武蔵野市にその1回が回ってきたというわけです。

さて、会長市としての武蔵野市の「社会教育委員の会議」としては、ルーティン的な「連絡協議会総会」の円滑な開催、「ブロック別研修会」「関東甲信越静社会教育研究大会」「全国社会教育研究大会」への積極的な関与の他に、「東京都市町村社会教育委員連絡協議会」の『会報』を創刊することを提案しました。『会報』の発行も含む、29の「社会教育委員の会議」間での一体感を増進し、一層の透明感を得られるような活動を模索しています。定評ある武蔵野市の先駆的な仕事の一つになれば幸いです。



第1回役員会・拡大役員会

(宇佐見議長)

## 東京都市町村社会教育委員連絡協議会 定期総会について

平成30年度定期総会では平成29年度の事業報告および決算、東京都市町村社会教育委員連絡協議会会則の一部改正、平成30年度の事業計画および予算、新役員についての審議を行いました。

本総会では主に平成29年度の報告と平成30年度の計画が審議されました。平成30年度は武蔵野市が会長市ということで、宇佐見新会長からのごあいさつと新役員の紹介がありました。平成30年度の事業計画および予算に関しては賛成多数で審議可決を賜り、会長市としての重責を感じました。

総会閉会後に行われた社会教育委員の研修会では「人生100歳時代を生きる子どもたちのために」と題して、東京大学大学院教育学研究科の牧野篤教授による基調講演を拝聴させて頂きました。過去に人類が経験をする事のなかった「人生100歳時代」におけるライフサイクルや人生設計の変化がすでに起きつつあること、その時に未来を生きる子どもたちに何をすることができるのかを社会教育の観点からご教授を頂きました。

時代の変化とともに社会教育の在り方も変化をしていかなければならないこと、学習教育、学びの概念そのものの変化に対しても対応をしていくべきであることをデータに基づいた丁寧な解説と事例を交えてお話を頂き、新たな時代を生きるひとりとして何を実施していくべきかを得ることができました。(堀内委員)



平成30年度役員紹介

左から2番目：宇佐見議長 左から4番目：北村委員



### 地域の方とともに創る授業

嶋田委員

本校では、地域の方とともに創る授業を推進しています。主に生活科や総合的な学習の時間、社会科の授業で行われています。例えば2年生の生活科「町たんけん」では、五小地域のいくつかの商店街の皆さんにご協力をいただき、お店の見学やインタビューをお願いしています。3年生の社会科「西久保の昔」では、地域の高齢者の方々に学校に来ていただき、いくつかのテーマに分かれ、インタビューをし、この地域の方しか知らない貴重なお話を伺いました。これらの活動を支えて頂いているのは、3年前から制度化された学校地域コーディネーターの方です。この方の協力なくしては、このような地域の方とともに創る授業は成立しません。教員だけのネットワークでは限界があります。今、市内の学校では、各校のコーディネーターの方々が活躍し、ダイナミックな、生き生きとした授業が展開され始めています。校長として学校側だけでなく、地域の方々にとっても意義ある大切な活動となっていくよう、このような授業を進め、広げていきたいと考えています。そして、地域の方とともに創る授業を通して武蔵野市民としての意識をもつ、市民性が育つ機会となることを期待しています。

### 薫風フェスタ

荒井委員

武蔵野市民芸術文化協会が主催する春の「薫風フェスタ」が、本年は5月26日（土）に武蔵野市民文化会館大ホールで開催されました。本年は、「夢を追うシンガー物語」と題して、加納健詞氏の脚本・演出による昭和の壮大なロマンをうたい上げた舞台に仕上がりました。物語は、昭和の時代に貧しいながらも音楽という夢を一生懸命追った一人の男の物語です。演劇を中心に芸術文化協会会員による舞踊やバレエ・空手・民謡・大正琴・朗読などが物語を演出しました。当日は、1102名の入場者で大いに盛り上がり感動的に幕を閉じました。

この制作にあたっては、武蔵野市民文化会館舞台スタッフ（NHKアート）・市生涯学習スポーツ課に多大なるご協力をいただきました。御礼申し上げます。

今年の秋には、武蔵野市民芸術文化協会設立30周年を迎えます。11月23日には30周年の記念イベントを開催する予定です。また、秋から始まる市民文化祭・フェスティバルもご期待ください。

夢追うシンガー物語

Dream chasing singer



### ★次期武蔵野市生涯学習計画の策定に向けた市民意識調査を実施します

平成22年度から31年度を計画期間とした現行計画について、本市の生涯学習を取り巻く状況の変化や新たな課題等へ対応した取り組みを一層推進するため、改定を予定しています。改定にあたっての市民意識調査を実施いたします。無作為抽出の市民2,000人へ郵送でお送りします。将来の学びについて率直なご意見をお聞かせください。（事務局）

### ■図書館で見つけた！ 社会教育委員イチオシの本■

「いくつになっても、今日がいちばん新しい日」日野原 重明 聖路加国際病院 名誉院長  
(株式会社PHPエディターズ・グループ、2017年6月)

知人に薦められて読んでみました。“人生の午後に与えられた時間をいかに生きるか”という問いかけの本です。気持ちの持ち方、健康のための配慮などへの素晴らしいアドバイスが、先人たちのなにげない言葉により、より納得してしまう本です。（舟橋委員）



## 社会教育委員の紹介（任期 平成30年4月～平成32年3月）

- PTA連絡協議会の会長、副会長など貴重な経験をさせていただき、子どもたちの教育には学校、保護者だけでなく地域の力の重要性も教わりました。そうした経験を踏まえ生涯学習という観点から武蔵野市の社会教育を考えていきたいと思ひます。（秋山 聡）
- 一昨年度から引き続き社会教育委員をしております。中学生のときに武蔵野市に移り住み、芸道の指導に励んでいます。武蔵野市芸術文化協会（通称：芸文協）の会長も務めており、今年秋に30周年を迎えます。（荒井 恵風）
- 亜細亜大学教職課程で中・高の教員を養成する立場にいます。社会教育の場は教育を取り巻く環境が見える場所ですので、ここに集まってくるいろいろなアイデアが実現していく過程を丁寧に見ていきたいと思ひます。（板垣 文彦）
- 亜細亜大学を定年退職して2年目になりました。当市社会教育委員は本年が在任5年目になります。この2年と5年の節目を自分なりに特別な思ひを込めて、どれだけ「人のため、世のため」に、改めて自分が何をする事ができるかを社会教育委員の活動を通じて日々考え実践していきたいと思ひます。（宇佐見 義尚）
- 長女の小学校入学と同時に武蔵野市に住んで以来、「PTA」「あそべえ」「青少協」等、子どもと関わる活動や地域活動に参加して来ました。これからも、いろいろな方々と関わり合ひながら社会教育委員の立場から考えていきたいと思ひます。（北村 淳子）
- 今年度、2期目の社会教育委員を務めさせていただくこととなりました。武蔵野市の市民の皆さんの活動を、学校の立場から考え、一助になっていければと思ひます。よろしくお願ひいたします。（嶋田 晶子）
- 児童生徒向け・成人向けの健康教育について研究しながら、体育大学で保健体育科教員養成をしております。社会教育委員1年生として、主体的・対話的な学びの機会をいただけますことを有難く思っております。本業は、小中学生の母親、境南町のおばさんです。（助友 裕子）
- 私は勤務先の成蹊大学で東京オリパラを睨んだ「ルーマニア交流プロジェクト」を担当しています。100名を越す学生スタッフとともに、武蔵野市と連携しつつ、様々な活動をしています。社会教育委員としても、大学と地域の連携を図りたいと思ひています。（竹内 敬子）
- NPO法人武蔵野自然塾で活動しています。自然をいろいろな切り口で学べる機会を市民の皆さまに提供しています。社会教育委員は今回で2期目となります。社会教育とは何か？を模索しつつありますが、あらゆる年代の方が、健康を維持しながら、多様な分野で長く学べる機会が持てればいいのではないかと思ひています。（白田 紀子）
- 武蔵野生まれ、武蔵野育ちです。武蔵野市体育協会の代表として、社会教育委員をお受けしました。よりよい武蔵野になるため、お手伝いできることがあればと思ひています。スキーと野外活動をスポーツ少年団の子どもに楽しみながら指導して38年になります。（舟橋 優子）
- 社会教育委員2期目の堀内雄次郎と申します。社会の変化に合わせて社会教育の在り方も日々変化をしていると思ひます。日々、学びを得てより良い社会を築きあげるために精進して参りますので宜しくお願ひ致します。（堀内 雄次郎）
- 武蔵野市中学校長会を代表して社会教育委員となりました。今回初めて社会教育委員となりましたが、「社会教育」と「学校教育」の連携やより良い結びつきについて考える貴重な機会にしたいと考えています。武蔵野市の子供たちの未来と武蔵野市の「社会教育」が豊かになるように力を尽くしたいと思ひています。よろしくお願ひいたします。（若槻 善隆）

### ★平成30年度補助金交付団体が決定しました

社会教育委員が審査員として、5月に行った補助金審査の結果を受けて、交付団体を決定しました。詳細は右のQRコードから市ホームページをご覧ください。

